

水の流れを学ぶ 町内小学校「上下水道施設見学」

町内3小学校4年生の社会科授業で、各地区の浄水場や浄化センターの見学学習が行われました。(朝日小6月22日、明和小6月27日、只見小6月30日)

見学学習では、株式会社トーカンの皆さんや町の職員の解説で生活の中で使用されている水が「どこから、どのように来ているのか」や「使用した水がどのように処理されているのか」などを学びました。児童は、普段見ることができない施設の内部構造や設備に興味深々で見学して回りました。



▲水の流れについて学ぶ朝日小児童



▲水が浄化される仕組みを学ぶ明和小児童



▲施設を真剣に見学する只見小児童

只見線全線運転再開し、新潟県魚沼市(旧小出町)と只見町の更なる交流を深める

商工会青年部「しねり弁天たたき地蔵祭り」参加

新潟県魚沼市で「しねり弁天たたき地蔵祭り」が開催され、只見町商工会青年部を中心に只見町民15人が参加しました。

開会式では、内田魚沼市長など関係者らと只見町商工会青年部の渡部公栄部長が鏡開きを行いました。

渡部部長は「只見線が全線繋がり、これからは小出と只見町の人繋がる時だと思います。両市町でお互いに手を取り合い、それぞれを盛り上げていきたいです」と話しました。

只見町商工会青年部は約40年以上にわたり、この祭りを通じた交流を続けており、両市町の友好関係の一端となっています。



▲内田市長や実行委員会メンバーらと一緒に鏡開きを行う渡部部長

町内の海外研修生と地域住民が交流を深める

「国際文化交流会 ミニ運動会」開催



▲子どもたちも参加し、大変賑わいました

明和自治振興会の主催で「第5回国際文化交流会 ミニ運動会」が7月1日に明和小学校体育館で開催されました。交流会は明和地区住民と海外研修生が相互に親睦を深めることを目的に行われました。

運動会には、町内企業の社員やその企業に就業している海外研修生など約70人が参加しました。全7種目の競技が行われ、最後には参加者全員で会津磐梯山を踊り交流を深めました。

～ユッコギを普段着に～

「只見の仕事着を縫ってみよう」実施

合同会社メーデルリーフの主催で「～ユッコギを普段着に～只見の仕事着を縫ってみよう」が7月8日から9日まで叶津番所で行われました。

『「自然首都・只見」伝承産品』に登録されたダフユッコギとホソユッコギのどちらか1つの型紙を使用し、参加者が用意した布で2日間かけてユッコギを縫い上げました。このワークショップには、町内外から10名が参加し、参加者からは、「只見の仕事着に興味を持ち参加した」「家に帰ってからも作ってみたい」などの声があがりました。



▲三瓶こずえさんからユッコギの説明を受ける参加者

川遊びを楽しみました

朝日小学校「川遊び・イワナつかみ体験」実施

朝日小学校の全校児童が、7月12日に黒谷川で「川遊び・イワナつかみ体験」をしました。

川遊びでは、川の流れに身を任せて泳いだり、水切りをして遊んだりした他、カエルなどの水生生物を発見するなど、川遊びを満喫しました。川遊び時には、流れが急な所や底が深い所で溺れないように、朝日地区地域づくり委員会の皆さんが見守りを行いました。

イワナつかみ体験では、浅瀬に作られた生け簀で、泳ぎ回るイワナを追いかけ、手づかみに挑戦しました。

児童は「水が冷たくて気持ちよかった」、「イワナがヌルヌルしていて、なかなか捕まえられなかった」と感想を話しました。



▲イワナつかみをする児童たち

奥会津地域全体を博物館に 「奥会津の縄文」開催

只見川電源流域振興協議会の主催で、奥会津7町村の文化施設が連携した企画展「奥会津の縄文」が7月22日から開催されました。

当企画は、奥会津地域全体を博物館に見立てる「奥会津ミュージアム事業」の一環で行われています。施設ごとに各地域の特色がある展示品が並べられ、只見町では、窪田遺跡から出土した土器などが、「ただみ・モノとくらしのミュージアム」に展示されています。

なお、只見町での当企画展は11月12日まで開催されます。ぜひ、足をお運びください。



▲縄文時代から続く奥会津の文化を感じてみてください

手作り雑貨や野菜などが並びました「明和マルシェ」開催

明和自治振興会の主催で「明和マルシェ」が7月22日にモノとくらしのミュージアムピロティで開かれ、手工芸品や野菜、アヒル掬いくじ（くじになっているアヒルを掬う）などが並びました。

明和マルシェには、おしらせばんなどを見た町民の方の他、ツーリング中に立ち寄られた方など町外からのお客さんも見えました。

明和マルシェは、10月まで毎月第4土曜日に開催を予定しています。今後の開催日や出店等につきましては、明和公民館（TEL 0241-86-2111）にお問い合わせください。



▲ツーリング中にマルシェに立ち寄られたお客さん

ご寄附ありがとうございました 南会津運輸親交会から寄附



▲ご寄附ありがとうございました。いただいたご寄附は有効に活用いたします

南会津運輸親交会は、7月26日に只見町役場を訪れ、金50,000円を町に寄附しました。

当親交会は、「輸送秩序の確立及び事故防止の運動の推進」等を行っており、今回の寄附については「交通事故防止等の活動に活用していただきたい」と話されました。

南会津運輸親交会…下郷町、南会津町、金山町、只見町内に事業所がある事業者等が参画しており、貨物自動車運送事業の輸送秩序の確立や各事業所間の友好・親睦を図ること等を目的としています。

スマホを使いたい人を応援 「みんなのためのやさしいスマホ教室」開催

スマートフォン（スマホ）の基本的な使い方やLINE（ライン）などの使い方を学ぶ「みんなのためのやさしいスマホ教室」の第1回目が7月24日、25日に開催されました。

講師は鈴木久美さん（布沢）が務め、参加者に対し、「間違いは最高の学びです。覚えて忘れてを繰り返しながら学びましょう」と伝えたくうえで、スマホに表示されているマークやアプリについて説明しました。



▲鈴木さんの説明を聞く参加者

只見町昔ばなしの会の地域貢献活動が認められました

「ニッセイ財団・地域生き生きシニア活動顕彰」受賞 受賞記念講演会「昔ばなしの伝承 表現とところ」開催

町に残る昔ばなしの伝承と普及に努めている只見町昔ばなしの会が、ニッセイ財団の「地域生き生きシニア活動顕彰」を受賞し、7月19日に福島県庁で行われた授賞式に渡部悦子代表が出席しました。

これは、すぐれた地域貢献活動をしている団体に対して顕彰されるもので、県内では本会を含めて4団体が表彰されました。

また、只見町昔ばなしの会のニッセイ財団顕彰の受賞を記念した講演会が、7月27日に季の郷湯ら里で開かれました。



▲表彰状を受取る渡部代表



▲講演会冒頭では、渡部代表が挨拶し、昔ばなしを披露しました

講演会は、ただみ・モノとくらしのミュージアムの久野俊彦館長が講師を務め、「昔ばなしの伝承 表現とところ」を演題に講演しました。時代とともに変化していく語り方について、実際に採話した昔ばなしを聞きながら違いを確認するなどし、参加者は興味深く聞き入っていました。

渡部代表は、「結成されて27年になりますが、これまでの活動が評価されて本当にうれしいです。先輩の方々の努力の賜物です。これからも一層昔ばなしを語ることに励んでいきたいです」と話しました。



虫歯のない子

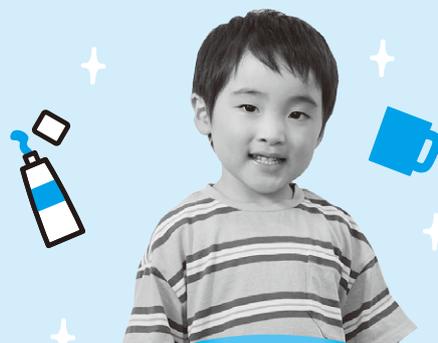
(7月25日 3歳児検診)



こばやし なる
小林 成くん
(三軒在家)



まし せいと
星 瑛翔くん
(小林)



すすき さくら
鈴木 咲良くん
(黒谷)

只見町名誉町民 渾朴の書人 生誕百年 「皆川雅舟展」 開催

企画展「生誕百年 皆川雅舟展 只見が生んだ渾朴こんぼくの書人」が、ただみ・モノとくらしのミュージアムで7月11日から10月9日まで開催されています。

本企画展は、皆川雅舟(政一郎)氏の屏風やパネルを中心とした大作の書作品を多数展示しています。故郷田子倉に関する資料や、皆川雅舟氏がどのようにして書人になり、どんな活動をしたのかについても展示し解説されています。

入場、観覧は無料となっておりますので、ぜひ皆さんご来場いただき、町の文化や歴史等に改めて触れるキッカケにしてみてください。



▲多くの書に触れて、只見町が生んだ書人を身近に感じてください

奥会津振興センターの事業等を紹介します

奥会津振興センターとは

奥会津7町村が共通して抱える課題に広域的に連携し取り組み、地域の活性化を図るため、各種事業を行っています。

「奥会津ミュージアムWeb」を公開しています

奥会津地域7町村在住または奥会津にゆかりのあるライターたちが、地域の生きた生活文化や人などへの取材を通じて、各々の感性で執筆されるコラムやその他ゲスト執筆者による記事なども随時更新する予定です。

新会長就任について

6月28日(水)、只見川電源流域振興協議会及び奥会津五町村活性化協議会の定例総会で役員改選が行われ、押部源二郎氏(金山町長)が会長に選任されました。押部会長は「皆さま方からの助言を頂戴しながら、奥会津の地域活性のために尽力していきたい」と抱負を述べました。任期は令和5年6月から令和7年6月までの2年です。

奥会津文化施設間連携企画展「奥会津の縄文」開催について

令和5年7月22日(土)より、奥会津7町村の文化施設において連携企画展「奥会津の縄文」を開催しております。本展開催に合わせ、講演会やバックヤードツアーなど関連イベントを実施しますので、併せてご参加ください。

奥会津カーシェアリング導入 実証事業の実施について

只見川電源流域振興協議会は、只見線の運転再開により増加した観光客の移動手段の確保と奥会津地域の観光周遊性の向上を目的に、奥会津カーシェアリング導入実証事業を実施しております。奥会津での観光や帰省などで、駅からの移動にぜひご利用ください。

実証期間

令和5年7月1日(土)～12月31日(日)
※降雪状況により変更有り

実施場所

会津柳津駅(駅前駐車場)
会津宮下駅(三島町観光交流館からんころん隣)
会津川口駅(金山町役場駐車場)
只見駅(只見線広場)

利用方法

ノッテッテDXアプリにて車両の予約ができます。詳しくはノッテッテHPをご覧ください。
(<https://www.le-perc.co.jp/carshare/>)

※各記事の詳細は当協議会ホームページをご覧ください。



歳時記の郷HP



奥会津ミュージアムHP



ノッテッテHP

問合せ先

奥会津振興センター(只見川電源流域振興協議会・奥会津五町村活性化協議会)

住所: 福島県大沼郡金山町大字中川字上居平933 メール: tdrsk@okuaizu.net 電話: 0241-42-7125